

■米田庄太郎 社会学者。京都帝大で、科学としての社会学の確立に努めるも、部落差別のため不遇だったと伝えられる。

よねだしょうたろう

明治6年政変 1873＝ 江戸時代に興福寺領だった奈良県添上郡辰市村杏で、中農米田八十平の長男に生まれる。母はヨシエ。

物心ついた頃から勤勉で、

琉球処分・・・1879＝ 6歳：大安寺小学校の部落学校八条支校に入学、

明治14年政変 1881＝ 8歳：

新体詩抄・・・1882＝ 9歳：

岩倉具視没・1883＝10歳：八条支校が分離されて西九条小学校に併合されるも、分校のままで、

帝国大学始・1886＝13歳：卒業。県立郡山尋常中学校に入学したが、

国民之友始・1887＝14歳：_私立奈良英和学校へ転じ、

初の対等条約 1888＝15歳：_校長に着任した聖公会宣教師アイザック・ドーマンと出会い、生涯の師となる。

帝国憲法発布 1889＝16歳：

_ドーマンに日本の部落問題の存在を知らしめ、強い印象を残すことになる。

大津事件・・・1891＝18歳：

大本教・・・1892＝19歳：_ドーマンが著した「比較宗教学」の翻訳を担当し、刊行始まる。

日清戦争始・1894＝21歳：

日清戦争終・1895＝22歳：「比較宗教学」の刊行が終わり、ドーマンが奈良を去ると、その勧めもあって、アメリカに留学、化学者高峰譲吉の助手をつとめてっ生活費を得、神学校ゼネラル・セオロジカル・セミナリーに入学、かたわらコーンピア大学のギディングスに社会学を学ぶ。

子規句歌革新 1898＝25歳：_卒業すると、社会学を深めようと、フランスに渡り、コレージュ＝ド＝フランスのタールドに学んで、

ピアノ国産化・1900＝27歳：

田中正造直訴 1901＝28歳：_帰国し、

教科書疑獄・1902＝29歳：_同志社普通学校教授に就任、

日露戦争終・1905＝32歳：

韓国反日暴動 1907＝34歳：*京都帝国大学に開設された社会学講座の講師となる。

伊藤博文暗殺 1909＝36歳：

_各国語に通ずる卓抜な語学力を駆使して、欧米の社会学説の紹介を精力的に行い、科学としての社会学の確立に努め、

明治天皇没・1912＝39歳：

大正政変・・・1913＝40歳：

第一次大戦始 1914＝41歳：_東京帝国大学建部逯吉らとともに、日本社会学院を創立して、日本の社会学の指導的立場に立つ。

同志社を辞任。

京都帝国大学の講師などをつとめながら、新聞や雑誌にも多くの論説を発表し、

本格政党内閣 1918＝45歳：_大原社会問題研究所の創立にも尽力して、

ベルサイユ条約・1919＝46歳：実現とともに、委員や評議員をつとめ、「現代人心理と現代文明」「軌近社会思想の研究」。

大暴落・・・1920＝47歳：

原敬首相暗殺 1921＝48歳：*文学博士の学位を受け、ようやく京都帝国大学教授に昇格、

原敬首相暗殺 1921＝48歳：「現代社会問題の社会学的考察」「現代文化人の心理」、

水平社結成・1922＝49歳：「リッケルトと歴史哲学」、

関東大震災・1923＝50歳：「恋愛と人間愛」。長男を亡くして衝撃を受け、以後、病気がちになったこともあって、

護憲三派圧勝 1924＝51歳：「歴史哲学の諸問題」。辞意を表明し、

治安維持法・1925＝52歳：*退官。これらが不遇に見え、‘教授会で同席はごめんだ’など学内の部落差別の結果と噂される。

金融恐慌・・・1927＝54歳：

_以後、経済学部や法学部での講師は続け、

満州事変・・・1931＝58歳：

五一五事件・1932＝59歳：_大谷大学教授になるなどしながら、研究を続けて、論文を発表、

二二六事件・1936＝63歳：

日中戦争始・1937＝64歳：

日米開戦・・・1941＝68歳：_教壇を去り、

・・・・・・1942＝69歳：_古希の祝賀に当って、弟子たちから著書の刊行を勧められるも、時局を考慮して断り、

年金+総武装 1944＝71歳：_没した。

インターネット、